

概要

ほぼ常勤医一人での対応となるため多症例の診療には限度がありますが、他科の先生方の協力を得て、分娩、婦人科良性疾患、癌、不妊症(IVF-ET)、感染症(HIV/AIDSも含む)とすべてに渡り安心・安全を信条として対応させていただいています。研修医の先生方へは1ヶ月ごとのローテイトとなりますが、産婦人科診療に興味を持っていただけのような研修を心掛けています。また、診療での医学的視野が狭まらないように臨床研究や地域活動にも積極的に参加して最新医学情報の収集や地域貢献にも努めています。

臨床実績

*分娩件数：15件（うち帝王切開：5件）

*婦人科手術：46件

子宮全摘 13件
子宮内膜掻爬 8件
付属器腫瘍摘出 5件
付属器悪性腫瘍手術 2件
子宮腔部円錐切除 7件
子宮悪性腫瘍手術 4件
流産手術 1件
バルトリン腺嚢胞摘出 1件
子宮動脈塞栓術 1件

*抗癌剤による化学療法：15例

子宮内膜癌 6例
子宮頸管癌 1例
卵巣癌 4例
腹膜癌 4例

臨床研究

*厚生労働科学研究費補助金エイズ対策政策研究事業(2024～):研究協力

「HIV感染者の妊娠・出産・予後に関する疫学的・コホートの調査研究と情報の普及及び啓発法の開発ならびに診療体制の整備と均霑化に関する研究」

*文部科学研究費補助金精神神経科学関連事業(2020～2023):研究協力

「周産期メンタルヘルス調査とパートナーへの介入方法に関する研究」

*NHOエイズ共同研究(2021～2023):研究協力

「抗HIV療法中のプロウヒルスにおける薬剤耐性微小集団に関する研究観察」

*NHO成育共同研究:研究協力

1. 「人工知能を用いた分娩時大量出血症例における凝固障害の病態解明と新しい産科DICスコアの開発」(2022～)

*NHO・EBM共同研究(2017～):分担研究

「免疫抑制患者における13価蛋白結合型肺炎球菌ワクチンと23価莢膜多糖体型ワクチンの連続接種と23価莢膜多糖体型ワクチン単独接種の有効性の比較—二重盲検無作為化比較試験(CPI STUDY)」

学会発表

* The28th Asia and Oceania Federation of Obstetrics and Gynecology Congress
(AFOG2024 : May16-20 2024 BEXCO,Busan,Korea)

「Acceptance and changes in medical staff's feelings toward HIV-Infected Pregnant women giving birth by vaginal delivery since the guideline approved (March 2018) vaginal delivery for HIV-Infected Pregnant women in Japan.」

Kimikazu Hayashi^{1,2}, Masashi Deguchi², Tunekazu Kita², et al²

¹. Kanmon Medical Center, NHO Japan, Department of Obstetrics and Gynecology

² National Cooperative Study Group on Prevention of Vertical Transmission of HIV-1 in Japan

令和5年度感染症予防事業・招聘講演企画

R5.11.13 防衛医大 産科婦人科学講座教授 高野政志
「最近、話題の性感染症いろいろ」

地域活動

1. 下関東ロータリークラブ:青少年育成プログラム支援
「中・高生における性教育講座」(2010～)
2. 世界エイズデーイベント開催(2013～)